

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



遅ればせながら、皆さん、明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで、良い新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、次々と発生した大型台風や豪雨による災害が多発し、厳しい状況の中での生活を余儀なくされた方々も多くいらっしゃいました。

嬉しいはずのお正月も、後片付けに追われ、ゆっくりすることが出来なかったかもしれません。



けれど今年こそ、三ヶ日のお天気のように温かく穏やかな時間が長く続くことを心より願います。

さて、今年は「ねずみ年」七福神の中の大黒天の使者として、大きな袋に詰まった福を皆に配ってくれるものとされています。また、子孫繁栄や始まりの年とも言われますので、福の



配達を待ちながら元気に走り回りましょう。今年も、どうぞよろしく願いいたします。

失敗事例から学ぶ家づくり成功の秘けつ！（14）

新たなテーマとして、家づくりの際に注意すべき大切なポイントを書かせていただいています。ご参考になれば幸いです。

【頼んでいないのに・・・】

大工さんが良かれと思ってしたことが、お施主さんにとっては不要な場合もあります。

例えば、大工さんが気を利かせたつもりで大黒柱を建てたとしましょう。

人によっては、立派に見えるのでありがたいと思うかもしれませんが、反面、それは「ありがた迷惑」と感じる人もいるでしょう。

また、このスペースは家族にとって一番大切にしたい場所なので、もっと入念に造ってもらいたかった。



あるいは、窓の位置や高さ、照明やコンセントの配置、等など、自分たちが考えていたのと少し違う、といった残念なことも起こり得ます。

このような、双方の行き違いは、残念ながらお互いのコミュニケーション不足が原因です。

窓やコンセントの位置等は、日常生活を送るうえでも大きな関わりがありますので、事前の打ち合わせの際しっかりとチェックしておくことが大切です。

併せて、

「必要以上の装飾は要りません」
「ドアの取っ手は、使い勝手の良いシンプルなものをお願いします」等・・・
細かいことでも自分たちの要望を事前に伝え、ひとつひとつ確認しながら家づくりを進めていきましょう。



折角の新居に不満は残したくありませんからね。

次回に続く

「鏡開き」

年神様に供えた鏡餅を、お雑煮やお汁粉などにして食べ、一家の円満を願う行事です。

元々は、鎧などの具足と一緒に供えたお餅をお雑煮にして食べる「具足開き」と呼ばれていたそうです。

これは武士の風習であったため、刃物で切るのは切腹を連想させるので、【切る】という言葉避けて【開く】という縁起の良い言葉を用いています。

硬いお餅を手で割るのは大変そうですが、刃物を使わず割ったり、木槌で砕いたりしたようです。

また、鏡は円満を意味します。

最近では、小分けにしたお餅が入った鏡餅が主流になってきているようですので、丸い大きなお餅を割るという事は無くなりつつありますが、お供えたお餅をお汁粉などにしていただくという習慣は、続けていきたいものですね。

ちなみに関東では1月11日、関西では1月15日あるいは20日に行われます。



スランプ



仕事や勉強を続ける中で、つい落ち込んでしまう・・・
なんてことはありませんか？

もがけばもがくほど深みに入ってしまい、解決の糸口が見つからずに悩み続ける、という状況をスランプと言いますが、何かとストレスが多い環境の中で生きている私たちにとっては、誰もが一度は経験したことがあることではないでしょうか。

スランプは、確かに辛く苦しい状況ですが、この状況から少しでも早く脱出するために少し発想を変えてみては如何でしょう。

私は、このスランプを自分自身が前進、成長するためのカベだというふうに考えるようにしています。

以前は、私も悩んだことがありましたが、スランプは、人間として生まれ、生きていく限り、決して免れぬもので、そこから逃げれば逃げるほど、より大きなカベになって自分の前に立ちはだかってしまう・・・そんな気がします。



スランプは、絶対に避けては通り抜けることのできない、人間に対しての試練だと思のです。だから、どんなに厚いカベに対しても自分自身の成長のために立ち向かい、打ち破るファイトが必要なのです。

それでは、そのファイトを生み出す原動力とは何か？ということになりますが、日々の生活態度が重要なのではないのでしょうか。

ただ黙々と会社で働き、賃金を得るために家庭との往復を繰り返すことだけではなく、その中で発生する仕事上のトラブル、同僚との会話や様々な人たちとのコミュニケーション、あるいは家庭での読書などから自分自身に必要なと思われるものを吸収して知識を得ることにより、先ずは小さいカベを乗り越え、次にその小さなカベを乗り越えた経験から、より大きなカベをも乗り越えられる「力」が湧いてくるのではないのでしょうか。

また、カベを突き破るのは自分自身であるということ、常に頭の中に入れておくことが必要だと思います。

スランプは自分で受け止め、自分で解決するしかないのですから。

でも、大きくて厚いカベを打ち破った時の達成感は格別で、その喜びは想像を超えるほど大きく、自信にもつながると信じています。

試練というものは、見えない神様から、その人ならば、きっと乗り越えられるというものが与えられるとも言われます。

それなら、自分自身が試される時と考え、真剣に立ち向かう良い機会と捉えては如何でしょうか？

今ここで果敢に挑戦したら、新しい自分に会えるかもしれせん。何だかワクワクしませんか。

試練に負けない強い力で頑張ってみましょう。

ファイト！

ファイト！



「編集後記」

新年を迎えてから早くも月半ば。

お屠蘇気分もすっかり抜け、また元通りの日常が始まりました。そして、13日は成人の日でしたね。各地で式典が催され、約122万人が大人の仲間入りをしました。

今年は、いよいよ東京五輪・パラリンピックが開催されますので、新成人の皆さんにとっては、より思い出深い年になりそうですね。

SNSがごく身近にあり、さまざまな情報が溢れる環境で育ってきた世代の人たちが見つめる先にはどんな未来があるのでしょうか？

豊かな感性が伸びやかに発揮できる社会になることを願います。頑張ってください！！

この1年も、引き続きお読みいただければ嬉しいです。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子